
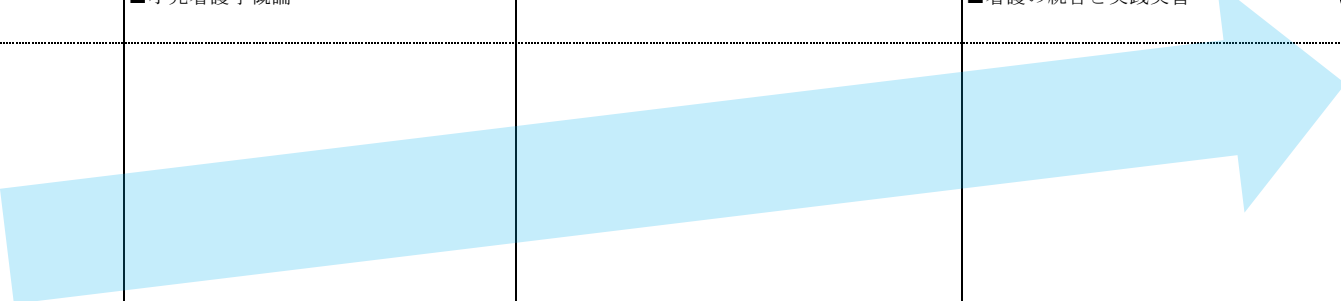


全国に先駆ける「ゴール到達に優れた」逆向き設計の看護教育

- ①ポートフォリオ・リフレクション・ルーブリックを用いた、全国に先駆ける評価を導入し大きな効果をあげています。
- ②アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)の視点から授業の充実を図り、“積極性と主体性を育てる授業づくり”を目指しています。
- ③パフォーマンス課題をもとに、プレゼンテーションをすることで、“根拠に基づいた表現力”を身につけていきます。
- ④ピアエデュケーション(先輩と後輩がともに学び合う)を通して、“人間関係を築きながら学べる環境”を整えています。
- ⑤戴帽式や看護実習体験発表会などを通し、自分自身の五感を活用する経験を積み重ね、“豊かな心の育成”に力をいれています。

看護とは、新鮮な空気・陽光・暖かさ・清潔さ・静かさを適切に保ち、食事を適切に管理すること こういったことの全てを

患者の生命力の消耗を最小にするように整える事を意味すべきである。(ナイチンゲール著作集 第1巻P150～151)

	<p>世の中で看護ほどに、その仕事において <自分が何を為しうるか> が、<自分がどのような人間であるか> にかかわっている職は、ほかにはないからです。 (ナイチンゲール著作集 第3巻P.266)</p>	<p>健康とは良い状態をさすだけではなく、われわれが持てる力を十分に活用できている状態をさす。 (ナイチンゲール著作集 第2巻P. 128)</p>	<p>疾病の症状を観察することは非常に大切である。しかし、さらに大切なことは、できる限り看護上の症状を観察することである。つまり疾病のせいによる症状でなく看護が不十分であるがために生ずる症状を観察によって見とることである。 (ナイチンゲール著作集 第2巻P.76)</p>	<p>自分自身の五感によってとらえたさまざまな印象について、行き届いた心に向ける訓練された力これが看護婦であること<必要条件>である。 (ナイチンゲール著作集 第2巻P.75)</p>	<p>看護婦は自分の仕事に三重の関心をもたなければならない。ひとつはその症例に対する理性的な関心、そして病人に対する(もっと強い)心のこもった関心、もうひとつは病人の世話と治療についての技術的(実践的)な関心である。 (ナイチンゲール著作集 第2巻P. 140)</p>	<p>看護婦は誰も、他人に頼りにされる看護婦、言い換えれば「信頼のおける」看護婦でなくてはならない。 (ナイチンゲール著作集 第1巻P.349～350)</p>
<p>分野 学年</p>	<p>人間の本质</p>	<p>健康の本质</p>	<p>看護の本质</p>	<p>ケアリングの優位</p>	<p>最善の看護</p>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>ゴール</p> <p>自ら気づき、自ら学び成長する力を身につけ、誰にでも平等に公平に関わり、人々の権利を守り、最善の看護を提供し、自らの職務に責任を全うできる看護師</p> </div> </div>
<p>専 門 課 程 (4~5年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 疾病と看護 ■ 生活と看護 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成人看護学方法論 ■ 老年看護学方法論 ■ 精神看護学方法論 ■ 在宅看護学方法論 ■ 母性看護学方法論 ■ 小児看護学方法論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎看護学概論 ■ 成人看護学概論 ■ 老年看護学概論 ■ 精神看護学概論 ■ 在宅看護学概論 ■ 母性看護学概論 ■ 小児看護学概論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 在宅看護学方法論 ■ 看護の統合と実践 ■ 基礎看護学 ■ 老年看護学方法論 ■ 精神看護学方法論 ■ 母性看護学方法論 ■ 小児看護学方法論 ■ 成人看護学臨地実習 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成人看護学臨地実習 ■ 老年看護学臨地実習 ■ 精神看護学臨地実習 ■ 在宅看護学臨地実習 ■ 母性看護学臨地実習 ■ 小児看護学臨地実習 ■ 看護の統合と実践実習 	
<p>基 礎 課 程 (1~3年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人体と看護 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>vision</p> <p>教育目的</p> <p>人々の健康で幸福な生活の実現に貢献できる看護師を育成する。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 疾病と看護 ■ 人体と看護 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎看護 ■ 成人看護 ■ 成人看護 ■ 成人・老人看護臨地実習 ■ 老年看護 ■ 看護情報活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 母性看護 ■ 生活と看護 ■ 礼法 ■ 小児看護 ■ 基礎看護臨地実習 ■ 鳳凰学 		
<p>身につく力</p>	<p>人間の根本となる生命力や自然治癒力の重要性を理解する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分を知り、相手を思いやる力 ● 自ら物事の価値を見出し、理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ● 患者が持っている力を見極める力 ● 看護師という職業を尊ぶ力 	<ul style="list-style-type: none"> ● ケアリング力 ● 誰にでも平等に関わる力 ● 行き届いた心に向ける訓練された力 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自ら気づき、自ら学び成長する力 ● 自らの職務に責任を全うできる力 		